

## 南仏事件情報（2016年7月）

### （1）殺人、強盗等

#### ○ 娘3人と母親が襲われる（オート・アルプ県）

1日午前、ラグランド村で、バカンスで滞在していた娘3人とその母親が、テラスで朝食を食べていたところ、男からナイフで襲われた。犯人は、イブリーヌ県に住む37歳の男で、同じくバカンスで妻や子どもと、被害者と同じ棟のアパートに滞在していた。凶器は刃渡り8～10cmの折りたたみナイフだった。8歳の末っ子をもっとも重体で、刃は片方の肺にまで至っていた。

#### ○ イギリス人女性2名が強姦被害（アルプ・マリティム県）

2日午前2時ごろ、ニース市で、16歳と20歳のイギリス人女性2名が、20歳代の男性2人から強姦された旨の申告をなした。女性らは、旧市街から海岸沿いを散歩していたところ、2人の男から飲みに誘われて駅周辺地区まで連れて行かれ、そこで被害に遭ったとのこと。犯人は、同日中に防犯カメラ映像などを元に、パトロール中の警察官から逮捕された。

#### ○ カップルが深夜に襲われる（BdR県）

27日午前1時45分ごろ、マルセイユ市14区で、車に乗っていた27歳と31歳の男女のカップルが強盗被害に遭った。道路上に木の枝が散乱しており、正常に通行することができなかったことから、これを取り除くために車を降りたところ、複数の人影が近寄ってきた。男の一人はけん銃を持っており、また別の男はガスマスクをかぶっていた。集団は、カップルの手提げバッグを奪おうとしたが、カップルはなんとか逃走することができた。

### （2）その他

#### ○ ホテルに立て籠もり（ヴォークリューズ県）

1日13時ごろ、ボレーヌ市のラパリュウにあるホテルで、30代の男がホテルの部屋に立て籠もり、「すべてを爆破する。」と脅迫した。事件は、男がホテルの支払いをする時に従業員と口論になったことで、憲兵隊に通報されたことに端を発する。さらに男は所持していた荷物を開披するのを拒否した。ホテルにいた人はすべて避難し、周囲の交通は規制された。最終的には、憲兵隊の特殊部隊が介入して男を逮捕した。逮捕時、男は武

器も爆発物も持たず（バッテリー付きの工作物を所持）、抵抗することもなかった。

○ 高齢の女性を狙ったひったくりが多発（B d R県）

8～12日、マルセイユ市4区のサンク・アベニュー地区で、高齢女性を狙ったひったくりが発生した。8日には82歳の女性が自宅の入り口でカバンをひったくった。11日には84歳女性が自宅アパートのホールで買い物袋を奪われ、12日には85歳の女性のハンドバッグと、91歳の女性のカバンと現金が被害に遭った。48時間以上に及ぶ捜査の結果、57歳の男が逮捕された。

○ 強姦未遂で少年が逮捕（エロー県）

10日午前7時30分ごろ、モンペリエ市で、ジョギング中の女性が男から襲われた。女性は男から腕を掴まれたが、抵抗して逃走に成功した。逃走中に転倒して腕を骨折した。犯人は逃走したが、女性が警察に対して犯人の特徴を正確に伝えたことから、数時間後に市内で逮捕された。犯人は、17歳の少年だったとのこと。

○ 爆弾騒ぎで不安な一夜（ヴォークルーズ県）

24日22時30分ごろ、演劇祭が開催されていたアヴィニオン市で、駐車場付近に大きな袋を持った不審な男たちがいるという通報を受け、警察が群衆を避難させる措置を執った。マルセイユから警察犬を動員するなどして午前3時30分まで捜索を実施したが、結局危険物などは発見されなかった。

○ 「すべてを爆破する」と立て籠もり（B d R県）

29日昼、マルティーグ市で、男が13歳の自分の娘を人質に取り、「家を爆破する」と自宅に立て籠もった。おびえた娘からの通報で現場に臨場した警察官は、はじめ交渉を試みたが、男の精神状態は正常ではなかったことから、強行突入することを決断した。玄関にはバリケードが構築されており苦戦したが、最終的にはこれを取り除き、男を確保して少女の安全を確保した。男はカッターナイフ2本を所持していた。少女に怪我はなかったが、精神的な後遺症が心配されている。

※ ここに掲載した事件は新聞等の公開情報をもとにまとめておりますが、

掲載した事件以外にも日々各種事件が発生していることを申し添えさせていただきます。